

## ドイツ語教員養成・研修講座開講のお知らせ

2021年8月

日本独文学会ドイツ語教員養成・研修講座 実行委員会

日本独文学会は、ドイツ語教育部会、東京ドイツ文化センター（Goethe-Institut Tokyo）と共催で、標記講座を開いています。現在開講中の講座は、2021年9月で終了いたします。それに伴い、2021年10月から新しい講座を開講いたします。

なお今回から、ほぼすべてのワークショップを ZOOM によるオンライン開催とし、会場に集まるワークショップは年1回を目処といたします。全国から多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

講座では、Goethe-Institut の教員養成・研修教材である *Deutsch Lehren Lernen* (DLL) のモジュール4 *Aufgaben, Übungen, Interaktion* を取り入れています。このモジュールを修了した場合、Goethe-Institut で *Grünes Diplom* を取得する際に、既習モジュールとしてカウントされます。

本講座の目標は以下の3点です。講座では、受講者と十分な議論ができる場の形成を目指します。

1. ドイツ語教育を取り巻く状況についての理解を深め、その中に自身の授業を位置づけることができる。
2. 科学知と実践知の双方を基盤に、学習者を中心に据えた授業プランとシラバスを立案・実践することができる。また、実践のふりかえりをもとに、授業を改善していくことができる。
3. 自身の授業実践を客観的に捉え、情報、メディア、協働関係などさまざまなリソースを、教師としての成長に活かすことができる。

### 講座の構成

1. オンライン授業
2. ワークショップ
  - モジュール方式でテーマを設定し、オンライン授業では、受講者は課題について Moodle 上で議論するとともに、レポートを担当講師に送り、担当講師からコメントを受信します。
  - モジュール毎に1回開かれるワークショップ（土曜日午後2～6時）では、後半で課題について講師による導入・解説が行われます。それを基に、受講者はレポートを作成します。次のワークショップの前半で、レポートに関する討論が全体で行われます。
  - ワークショップは、ZOOM によるオンライン開催とします。ただし、年1回は会場に集まってワークショップを行う予定です。

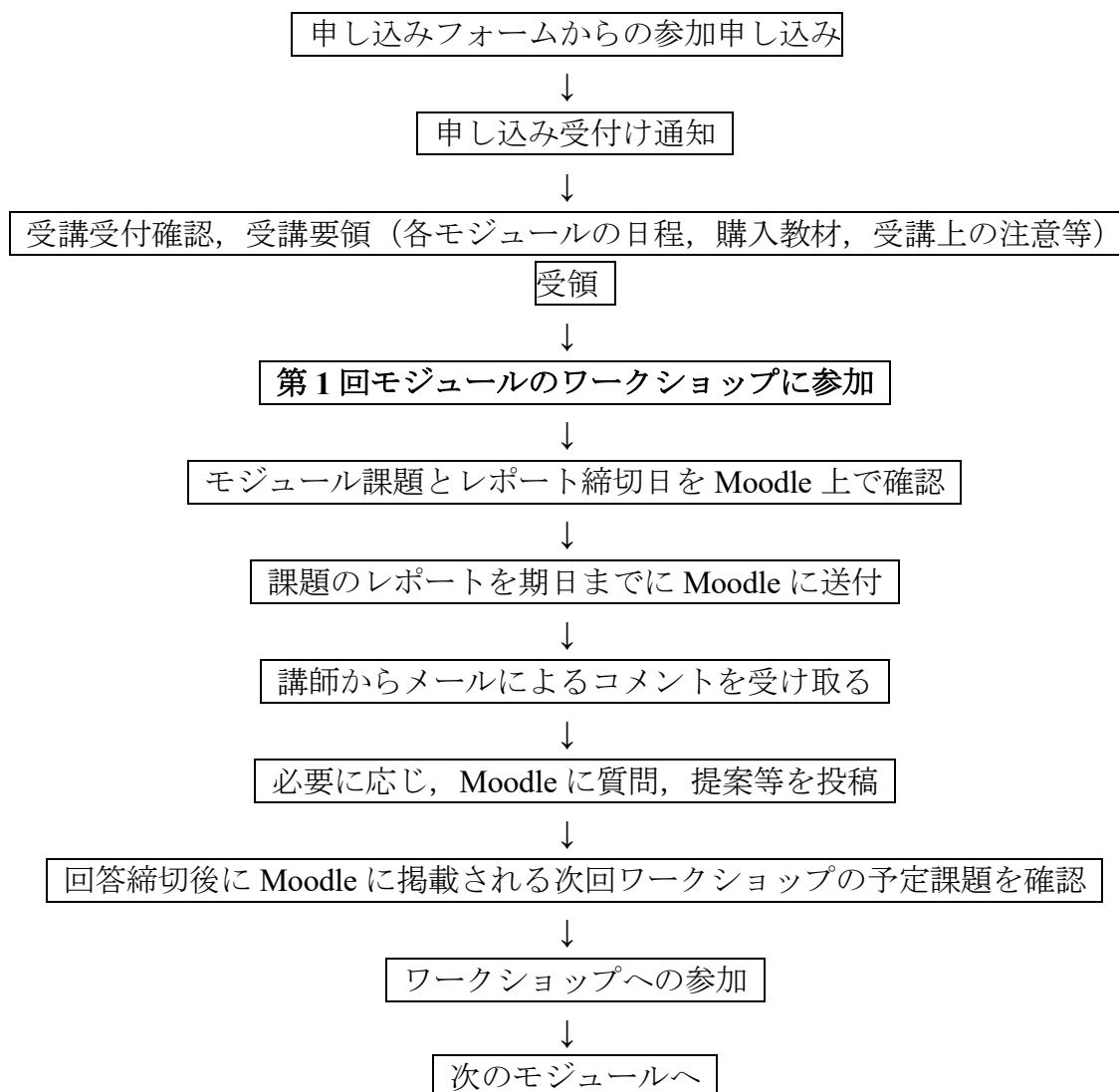
## 講座の概要

1. 参加資格：日本独文学会会員および教育部会準会員（非会員でご希望の方は委員会までご相談下さい）
2. 期間：2年 ただし1年ごとの参加も可能です。初めての受講の場合には、1年目からの受講のみ可能です。2年目からの受講は、過去に前期講習を受講済みの場合に限りです。
3. 開講：2021年10月
4. 申込み受付：2021年8月9日（月）～9月30日（木）
5. 申込み：以下の申し込みフォームから  
<http://bit.ly/2Ly8dMa>  
もしくは、次のQRコードから、申し込みフォームにアクセスする。



- 講座参加費（1期1年）：¥30,000（予定；但し、DLL以外の教材費は自己負担。大学院生は¥3,000割引）
6. 募集参加者数：25名程度
  7. 参加証：講座修了後、日本独文学会、ドイツ語教育部会、ゲーテ・インスティテュートの連名で発行。
  8. 問い合わせ先：日本独文学会ドイツ語教員養成・研修講座実行委員会：[dafkurs-open@jgg.jp](mailto:dafkurs-open@jgg.jp)
  9. 各モジュールのテーマ：別紙参照
  10. 授業参観
    - 実習は受講者が個別に行います。講座が仲介した授業に出向き、担当教員の授業を参観します。
    - 参観した授業の分析・報告をレポートとして提出し、ワークショップで検討します。
  11. 実習（実験授業）
    - 実習は受講者が個別に行います。ただし、勤務校を持たない受講者については、本講座実行委員会が実習校の斡旋をします。
    - 実習に際しては、実習校の教員、または本講座実行委員が **Betreuer** として付きます。

受講のチャート（申込みから受講まで）



ドイツ語教員養成・研修講座 プログラム (2021-2023 年 期)

前期 (2021 年 10 月–2022 年 7 月)

ワーク シヨッ プ	日付	ワークショップとモジュールのテーマ	
		前半	後半
1	10 月	導入：コースへの期待；自 身の体験の振り返り	<b>M1</b> : 教授法の変遷；教科書分 析，教材作成
2	11 月	<b>M1</b> のレポートの評価と討 論	<b>M2</b> : 授業計画，授業目標，シ ラバス
3	12 月	<b>M2</b> のレポートの評価と討 論	<b>M3</b> : 受容的能力(聴く・読む)
4	1 月	<b>M3</b> のレポートの評価と討 論	<b>M4</b> : 産出的能力(話す・書く) とフィードバック
5	4 月	<b>M4</b> のレポートの評価と討 論	<b>M5</b> : 教師に求められる能力： 科学知と実践知； <i>CEFR</i> にみ る教育理念
6	5 月	<b>M5</b> のレポートの評価と討 論	<b>M6</b> : <i>Lernerzentrierung</i> (学習者 中心)
7	6 月	<b>M6</b> のレポートの評価と討 論	<b>M7</b> : ドイツ語授業の参観
8	7 月	<b>M7</b> のレポートの評価と討 論	講座の総括

後期（2022年10月—2023年9月）

ワークショップ	日付	ワークショップとモジュールのテーマ	
		前半	後半
1	10月	外部講師による講演	<b>M8:</b> ランデスクンデと異文化理解
2	11月	DLL 4 導入ワークショップ（1日半）	
3	12月	M8 のレポートの評価と討論	<b>M9:</b> 様々なメディアと ICT の導入
4	1月	M9 のレポートの評価と討論	DLL 4, PEP の準備
5	4月	DLL 4, PEP の準備	<b>M10:</b> テストと評価
6	6月	Praxiserkundungsprojekt (PEP) プレゼンテーション	
7	7月	M10 のレポートの評価と討論	<b>M11:</b> 学習者の動機づけとインターアクション
8	9月	M11 のレポートの評価と討論	講座の総括